



DxO Optics Pro v9.5.3 – リリースノート

Windows 版

サポートしているシステム

- Microsoft Windows Vista (32 と 64 ビット対応)、Windows 7 (32 と 64 ビット対応)、Windows 8 (32 と 64 ビット対応)、Windows 8.1 (32 と 64 ビット対応)
- プロセッサ：Intel Core® 2 Duo、AMD Athlon™ 64 X2 またはそれ以上 (奨励：Intel Core® i5、AMD Phenom™ II X4 またはそれ以上)
- メモリ要件 (RAM)：2 GB またはそれ以上 (奨励：8 GB またはそれ以上)
- グラフィックカード
 - GPU 高速処理のサポート
 - DirectX 9.0.c をサポートしているグラフィックカードが必要
 - 512 MB のビデオメモリを奨励
 - OpenCL™ 高速処理のサポート
 - NVIDIA GeForce 460 またはそれ以上
 - ATI Radeon HD 58xx またはそれ以上
- 2 GB 空きディスク容量 (6 GB 奨励)
- 20メガピクセル/2000万画素以上の RAW 画像を処理する場合、64ビットのシステムと8GBのメモリを強く奨励
- Nikon D800 と Nikon D800E の画像を処理するには、64ビットシステムのコンピュータが必要、また4コアプロセッサ搭載のコンピュータの使用を奨励

インストールとライセンス認証

- .NET Framework 4.5 がインストールされていない場合、自動的にインストール (ダウンロードには数分かかり、ダウンロード後、再起動が必要)
- 弊社製品をインストールする前に、Microsoft Windows の最新アップデートのインストールを奨励
- DxO Optics Pro v8 のサイドカーファイルとモジュールは、最初の起動時に自動的にインポート

###

v9.5.1と比較しての新機能

- カメラ 1 機種の新規サポート
 - Nikon D810
- XMPファイルに特殊文字が使われている場合の画像処理の問題の修正
- マイナーなバグの修正

v9.5と比較しての新機能

- カメラ 5 機種の新規サポート
 - Sony α 7s
 - Sony DSC-RX100 III
 - Sony SLT-A α 77 II
 - Nikon 1 J4
 - Samsung NX30
- Flickr へのエクスポート機能が再び利用可能
- マイナーなバグの修正

v9.1.5と比較しての新機能



- カメラ 4 機種の新規サポート
 - Canon PowerShot G1 X Mark II
 - Nikon 1 V3
 - Panasonic Lumix GH-4
 - Sony α 6000
- Lightroom 用プラグインを使いAdobe Lightroomとの連携ワークフローが実現し、LightroomからRAW画像をDxO Optics Proに直接転送し、現像処理した画像をLightroomにエクスポート可能
- Adobe Lightroomとの連携ワークフローについて詳しくは[DxO Academy](#)のチュートリアルを参照
- DxO Optics Pro 9.x のデモ版の試用期間が終了したユーザもDxO Optics Pro 9.5を31日間試用可能
- マイナーなバグの修正

v9.1.4と比較しての新機能

- カメラ 5 機種の新規サポート
 - Nokia Lumia 1020
 - Canon EOS Kiss X70
 - Olympus E-M10/Stylus 1
 - Nikon Coolpix P340
- Windows 8上でEpson社製プリンタを使っての印刷が可能
- マイナーなバグの修正

v9.1.3と比較しての新機能

- カメラ 4 機種の新規サポート
 - Nikon D4S
 - Sony α 5000
 - GoPro Hero 3+ Black Edition
 - Leica X Vario (Type 107)
- プリファレンスのオプション [RAW 画像のサイドカーXMPファイルのメタデータを保持する] が選択されているとDxO Optics Pro で作成されたJPEG または TIFF 画像が Photoshop に RAW 画像と認識されなくなる
- マイナーなバグの修正

v9.1.2と比較しての新機能

- カメラ 5 機種の新規サポート
 - Nikon D3300
 - Canon EOS M2
 - Panasonic DMC-FZ72
 - Samsung NX1000
 - Samsung NX1100
- 日本語ユーザーガイド利用可能
- マイナーなバグの修正

v9.1.1と比較しての新機能

- カメラ 2 機種の新規サポート
 - Panasonic Lumix GM-1
 - Nikon 1 AW1
 - Apple iPhone 5S
- Pentax K-3 のDNGファイルのサポート
- 画像ブラウザをクリックしなくても、キーボードの矢印キーを使って前の画像や次の画像への移動が可能
- 画像を削除すると、次の画像が自動的に選択されるように修正
- [ノイズ除去] パレットのルーペがJPEG と TIFF画像にも利用可能



- Flickrにエクスポートする際、EXIF情報の削除が可能
- フレーム、光漏れ、テクスチャのプルダウンメニューにプレビュー機能が追加
- マイナーなバグの修正

v9.1と比較しての新機能

- カメラ 6 機種の新規サポート
 - Nikon Df (エリート版のみ)
 - Sony α7 (エリート版のみ)
 - Sony DSC-RX10
 - Sony α 3000
 - Pentax K-3
 - Panasonic Lumix DMC-LF1
- Facebookへのエクスポートウィンドウの簡素化
 - ICCプロファイル選択の削除 (ICCプロファイルはFacebook投稿時に無視)
 - 画像のリサンプリングを常にピクセルにて表示
- マイナーなバグの修正

v9.0.1と比較しての新機能

- PRIME による処理の改善: PRIME によって処理された画像がよりくっきりと
- DxO FilmPack 4.5 の改善点の反映
 - フィルムの新規追加 : Agfa Scala™ 200x と Kodak Ektar™ 100
 - フレームを画像の外に配置できる新機能
 - 光漏れを適用する場所を選択できる新機能
 - 調色処理を、フレーム、テクスチャ、光漏れに対して、単独または同時に適用できる新機能
 - フレーム適用時に生じていたアーチファクトの除去
- Facebookへのエクスポート機能追加
- RAW 画像内に入っているプレビュー画像を使うことにより、最初の画像の表示スピードの改善。このため、最初に表示された画像と補正された画像で、色調やコントラストにやや差が出る
- カメラ 8 機種の新規サポート
 - Olympus OM-D E-M1 (エリート版のみ)
 - Sony α 7R (エリート版のみ)
 - Nikon D5300
 - Canon PowerShot S120
 - Canon PowerShot G16
 - Panasonic GX7
 - Sony NEX-5T
 - Pentax K-500
- Fuji S3 Pro と S5 Pro の画像に対してPRIME が使用可能
- 処理待ちの画像を画像ブラウザ内で確認可能
- iPhone 5 用のモジュールがインストールされていた時に発生していた iPhone 5S の画像のエラー解決
- ノイズ除去パレットのルーペ内の処理状況アイコンが作動
- マイナーなバグの修正

v9.0 と比較しての新機能

- カメラ 2 機種の新規サポート
 - Nikon D610 (エリート版のみ)
 - Nikon Coolpix P7800
- Ricoh GR のファームウェア 2.0.3で撮影された画像のサポート
- ネットワーク上のライブラリ内のフォルダに多数の画像がストックされている場合のアプリケーションの起動スピードの改善
- 特定のコンフィギュレーションで発生していたプリセットウィンドウの点滅の問題の解決
- マイナーなバグの修正



- ドイツ語のユーザーズガイドが利用可能

DxO Optics Pro 9 の新機能

- 画像処理の新機能
 - 新ノイズ除去アルゴリズム [PRIME] 導入により、DxO Optics Pro 8 と比較し、画質に関して、1-ストップの向上を実現。この機能はRAW画像のみ適用可能で、処理時間が著しく長くなりま
す（通常の処理が10秒のところ、約5分間必要な場合あり）。このアルゴリズムの効果のプレビ
ューは、ノイズ除去パレット内に新規に導入されたルーペ内で可能。
 - DxO Optics Pro 8 のノイズ除去機能を更に改善した新ノイズ除去アルゴリズム [High] の導入。
このアルゴリズムは、前バージョンのものと同様に高速処理が可能。デフォルト設定で、細か
い粒子で多くのディテールを特にハイライト部で再現。
 - [露光補正] パレットと [選択的トーン補正] パレットの [ハイライト] スライダの使用時、
特にRAW画像に関して、より効果的にハイライトリカバリを実現。
 - [カラーレンダリング] パレットの [ジェネラルレンダリング] プルダウンメニュー内で、
RAW画像専用の新プリセット [DxO ポートレート] が利用可能。
 - [マイクロコントラスト] の効果を強調（全バージョンの設定の [100] が、新バージョンの設
定の [50] に相当）
 - [露光補正] パレットの [Smart] が、ハイライト部のリカバリを強調
- 新エクスポートシステム
 - 全ての画像処理を [ハードディスクにエクスポート] 機能を通して実行
 - [他のソフトウェアで開く] 機能が、[別のアプリケーションにエクスポート] 機能に変更
 - [別のアプリケーションにエクスポート] と [Flickrへエクスポートする] 機能を使えば、画像
を処理して、予め設定したアプリケーションとFlickrサイトにすぐにエクスポート可能
 - [処理] タブが削除され、全てのエクスポート作業をモニターできるウィンドウを新規導入。
このウィンドウは、エクスポート作業が進行中に表示される [画像ブラウザ] の進捗バーから
アクセス可能。
- インターフェースの右上にある [プリセット] プルダウンメニューを開けば、プリセットの効果を適用
する前にサムネイル画像でプレビュー確認可能。
- 予め用意されたプリセットが更新され、用途別に分類。これらはすべて [全体プリセット]。新しいデ
フォルトのプリセット [DxO 標準] が、前のバージョンの [DxO デフォルト] プリセットを更新。
- 画像上でダブルクリックして、ズームイン/ズームアウトが可能。参照画像との切替は、マウスのホイ
ールか中央ボタンをクリック、またはツールバーの [画像比較] ボタンか [Ctrl] + D のショートカット
で可能
- 新ワークスペースは、基本ツールを全面に出しながらも、アドバンス機能への迅速なアクセスが可能。
- ツールバーが再構成され、縦のパレットスペースの改善。
- 新しいローカルヘルプシステム導入。補正パレットのタイトルの右にボタンが配置され、補正項目とパ
レット内のスライダ等の機能を簡単に参照可能。
- DxO Optics Pro に対し、全て同じフォルダに入っている複数の画像をドラッグ&ドロップ機能、または
[プログラムで開く] コマンドで取り込んだ場合、画像が入っているフォルダが開き、全ての画像が選
択されます。プロジェクトが開いてある場合は、読み込まれた画像はプロジェクトに追加。
- ノイズ除去アルゴリズム、品質 [High] の補正結果がデフォルトで全てのズーム率でプレビュー可能
（ [PRIME] が選択されている場合も同様）
- DxO Optics Pro の画面下のセパレーターをマウスで下方に移動することで [画像ブラウザ] を画面から
隠すことが可能
- アプリケーションの最初の起動時にインストールされたデモ画像が表示
- アプリケーションのインストール時にユーザーズガイドも同時にインストール
- [ヘルプ] メニューから DxO Academy に直接アクセス可能
- [Ctrl] + F9 のショートカットで [画像ブラウザ] を非表示にしても、表示されているセパレーターを使
って簡単に再表示可能
- [画像ブラウザ] のツールバーの空きスペースをマウスでドラッグ移動して [画像ブラウザ] をアンド
ックすることが可能
- [プレビューパネル] 上で右クリックすると [画像ブラウザ] のサムネイル上で右クリックした場合と
同じメニューが表示
- プロジェクトモードで使用時、DxO Optics Pro 内に元画像の入っているフォルダを読み込み可能



- ウィンドウズエクスプローラで、互換性のある画像上から〔プログラムから開く〕メニューを呼び出し DxO Optics Pro へのアクセスがデフォルトで可能

現時点で確認されている制限

- メモリ管理上の理由により、32 ビットのシステム上では GPU 高速処理が利用不可
- ビデオメモリが少ないグラフィックカードの場合、OpenCL がサポートされていて 2 枚以上の画像を一度に処理する場合、処理が中断。一度に処理する画像の枚数を減らすか、OpenCL を無効にすることで解決
- GoPro のカメラで撮影され、画像の向きが別のプログラムで変更された画像のディストーション補正が正しく機能しない。

Mac OS X

サポートしているシステム

- Mac OS X 10.6 (Snow Leopard)、10.7 (Lion)、10.8 (Mountain Lion)、10.9 (Mavericks)、10.10 (Yosemite)
- プロセッサ：インテルマックのみ、64 ビット対応 (Intel Core™ i5 またはそれ以上奨励)
- メモリ要件 (RAM) : 2 GB またはそれ以上 (奨励 : 8 GB またはそれ以上)
- グラフィックカード
 - GPU 高速処理のサポートのためには 512 MB のビデオメモリを奨励
- 2 GB 空きディスク容量 (6 GB 奨励)
- 20メガピクセル/2000万画素以上の RAW 画像を処理する場合、4 GB のメモリを強く奨励
- Nikon D800 と Nikon D800E の画像を処理するには、64 ビットシステムのコンピュータが必要、また 4 コアプロセッサ搭載のコンピュータの使用を奨励

###

v 9.5.2と比較しての新機能

- アプリケーションの動作が時にスローダウンする問題の修正
- Mac OS X 10.10 (Yosemite) 上で、LightroomからDxO Optics Proへの画像の転送の際に生じる解像度の問題の修正
- Mac OS X 10.10 (Yosemite) 上での高解像表示の問題の修正
- マイナーなバグの修正

v9.5.1と比較しての新機能

- カメラ 1 機種の新規サポート
 - Nikon D810
- XMPファイルに特殊文字が使われている場合の画像処理の問題の修正
- マイナーなバグの修正

v9.5と比較しての新機能

- カメラ 5 機種の新規サポート
 - Sony α 7s
 - Sony DSC-RX100 III
 - Sony SLT-A α 77 II
 - Nikon 1 J4
 - Samsung NX30
- Flickr へのエクスポート機能が再び利用可能
- マイナーなバグの修正



v9.1.5と比較しての新機能

- カメラ 4 機種の新規サポート
 - Canon PowerShot G1 X Mark II
 - Nikon 1 V3
 - Panasonic Lumix GH-4
 - Sony α 6000
- Lightroom 用プラグインを使いAdobe Lightroomとの連携ワークフローが実現し、LightroomからRAW画像をDxO Optics Proに直接転送し、現像処理した画像をLightroomにエクスポート可能
- Adobe Lightroomとの連携ワークフローについて詳しくは[DxO Academy](#)のチュートリアルを参照
- DxO Optics Pro 9.x のデモ版の試用期間が終了したユーザもDxO Optics Pro 9.5を31日間試用可能
- マイナーなバグの修正

v9.1.4と比較しての新機能

- カメラ 5 機種の新規サポート
 - Nokia Lumia 1020
 - Canon EOS Kiss X70
 - Olympus E-M10/Stylus 1
 - Nikon Coolpix P340
- マイナーなバグの修正

v9.1.3と比較しての新機能

- カメラ 4 機種の新規サポート
 - Nikon D4S
 - Sony α 5000
 - GoPro Hero 3+ Black Edition
 - Leica X Vario (Type 107)
- プリファレンスのオプション [RAW 画像のサイドカーXMPファイルのメタデータを保持する] が選択されているとDxO Optics Pro で作成されたJPEG または TIFF 画像が Photoshop に RAW 画像と認識されなくなる
- マイナーなバグの修正

v9.1.2と比較しての新機能

- カメラ 5 機種の新規サポート
 - Nikon D3300
 - Canon EOS M2
 - Panasonic DMC-FZ72
 - Samsung NX1000
 - Samsung NX1100
- フレーム、光漏れ、テクスチャの選択パレットでプレビュー可能 (DxO FilmPack エキスパート版のプラグインが認証されている場合)
- スクロールバーが見やすく改善
- 日本語ユーザーガイド利用可能
- マイナーなバグの修正

v9.1.1と比較しての新機能

- カメラ 2 機種の新規サポート
 - Panasonic Lumix GM-1
 - Nikon 1 AW1
 - Apple iPhone 5S
- マイナーなバグの修正



v9.1と比較しての新機能

- カメラ 6 機種の新規サポート
 - Nikon Df (エリート版のみ)
 - Sony α7 (エリート版のみ)
 - Sony DSC-RX10
 - Sony α 3000
 - Pentax K-3
 - Panasonic Lumix DMC-LF1
- マイナーなバグの修正

v9.0.1と比較しての新機能

- PRIME による処理の改善: PRIME によって処理された画像がよりくっきりと
- DxO FilmPack 4.5 の改善点の反映
 - フィルムの新規追加 : Agfa Scala™ 200x と Kodak Ektar™ 100
 - フレームを画像の外に配置できる新機能
 - 光漏れを適用する場所を選択できる新機能
 - 調色処理を、フレーム、テクスチャ、光漏れに対して、単独または同時に適用できる新機能
 - フレーム適用時に生じていたアーチファクトの除去
- Facebookへのエクスポート機能追加
- RAW 画像内に入っているプレビュー画像を使うことにより、最初の画像の表示スピードの改善。このため、最初に表示された画像と補正された画像で、色調やコントラストにやや差が出る
- カメラ 8 機種の新規サポート
 - Olympus OM-D E-M1 (エリート版のみ)
 - Sony α 7R (エリート版のみ)
 - Nikon D5300
 - Canon PowerShot S120
 - Canon PowerShot G16
 - Panasonic GX7
 - Sony NEX-5T
 - Pentax K-500
- Fuji S3 Pro と S5 Pro の画像に対してPRIME が使用可能
- 処理待ちの画像を画像ブラウザ内で確認可能
- iPhone 5 用のモジュールがインストールされていた時に発生していた iPhone 5S の画像のエラー解決
- ノイズ除去パレットのルーペ内の処理状況アイコンが作動
- マイナーなバグの修正

v9.0と比較しての新機能

- カメラ 2 機種の新規サポート
 - Nikon D610 (エリート版のみ)
 - Nikon Coolpix P7800
- Ricoh GR のファームウェア 2.0.3で撮影された画像のサポート
- マイナーなバグの修正
- ドイツ語のユーザーズガイドが利用可能

DxO Optics Pro 9 の新機能

- 画像処理の新機能
 - 新ノイズ除去アルゴリズム [PRIME] 導入により、DxO Optics Pro 8 と比較して画質に関して、1-ストップの向上を実現。この機能はRAW画像のみ適用可能で、処理時間が著しく長くなります。(通常の処理が10秒のところ、約5分間必要な場合あり) このアルゴリズムの効果のプレビューは、ノイズ除去パレット内に新規に導入されたルーペ内で可能。

- DxO Optics Pro 8 のノイズ除去機能を更に改善した新ノイズ除去アルゴリズム [High] の導入。このアルゴリズムは、前バージョンのものと同様に高速処理が可能。デフォルト設定で、細かい粒子で多くのディテールを特にハイライト部で再現。
- [露光補正] パレットと [選択的トーン補正] パレットの [ハイライト] スライダの使用時、特にRAW画像に関して、より効果的にハイライトリカバリを実現。
- [カラーレンダリング] パレットの [ジェネラルレンダリング] プルダウンメニュー内で、RAW画像専用の新プリセット [DxO ポートレート] 利用可能。
- [マイクロコントラスト] の効果を強調 (全バージョンの設定の [100] が、新バージョンの設定の [50] に相当)
- [露光補正] パレットの [Smart] が、ハイライト部のリカバリを強調
- 新エクスポートシステム
 - 全ての画像処理を [ハードディスクにエクスポート] 機能を通して実行
 - [他のソフトウェアで開く] 機能が、[別のアプリケーションにエクスポート] 機能に変更
 - [別のアプリケーションにエクスポート] と [Flickrへエクスポートする] 機能を使えば、画像を処理して、予め設定したアプリケーションとFlickrサイトにすぐにエクスポート可能
 - [処理] タブが削除され、全てのエクスポート作業をモニターできるウィンドウを新規導入。このウィンドウは、エクスポート作業が進行中に表示される [画像ブラウザ] の進捗バーからアクセス可能。
- インターフェースの改善 (色、アイコン等)
- インターフェースの右上にある [プリセット] プルダウンメニューを開けば、プリセットの効果を適用する前にサムネイル画像でプレビュー確認可能。
- 予め用意されたプリセットが更新され、用途別に分類。これらはすべて [全体プリセット]。新しいデフォルトのプリセット [DxO 標準] が、前のバージョンの [DxO デフォルト] プリセットを更新。
- 画像上でダブルクリックして、ズームイン/ズームアウトが可能。参照画像との切替は、ツールバーの [画像比較] ボタンか、D キーで可能
- 新ワークスペースは、基本ツールを全面に出しながらも、アドバンス機能への迅速なアクセスが可能。
- ツールバーの再構成。
- 新しいローカルヘルプシステム導入。補正パレットのタイトルの右にボタンが配置され、補正項目とパレット内のスライダ等の機能を簡単に参照可能
- DxO Optics Pro に対し、全て同じフォルダに入っている複数の画像をドラッグ&ドロップ機能、または [プログラムで開く] コマンドで取り込んだ場合、画像が入っているフォルダが開き、全ての画像が選択されます。プロジェクトが開いてある場合は、読み込まれた画像はプロジェクトに追加。
- ノイズ除去アルゴリズム、品質 [High] の補正結果がデフォルトで全てのズーム率でプレビュー可能 ([PRIME] が選択されている場合も同様)
- DxO Optics Pro の画面下のセパレーターをマウスで下方に移動することで [画像ブラウザ] を画面から隠すことが可能
- アプリケーションの最初の起動時にインストールされたデモ画像が表示
- アプリケーションのインストール時にユーザーズガイドも同時にインストール
- [ヘルプ] メニューから DxO Academy に直接アクセス可能
- プロジェクトとフォルダが同じ場所に表示

現時点で確認されている制限

- Sony NEX-3N と Sony E16-50mm f/3.5-5.6 のレンズを使って撮影した JPEG 画像のディストーションが過度に補正。この画像に対してはディストーションの自動補正を無効にすることを奨励。RAW 画像は、この問題の対象外。
- 32 ビットの Macintosh と Mac OS X 10.5 の非サポート
- OpenCL 処理の非サポート
- GoPro のカメラで撮影され、画像の向きが別のプログラムで変更された画像のディストーション補正が正しく機能しない。